

令和6年度 (迫支援) 学校の研究概要 ～令和7年1月末現在～

運営委員氏名 (但馬美恵子)

研究テーマ	児童生徒の目標達成に向けた主体的・対話的で深い学びの授業作りの在り方～各教科等を合わせた指導の授業実践を通して～(2年次)
研究目標	児童生徒の主体的・対話的で深い学びの具体的な姿について、本校としての具体的な姿、捉えの共有を図り、主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた指導・支援の工夫を検討することを通して、児童生徒の目標達成に向けた授業作りの在り方を探る。
研究内容・方法 研究計画等	〈研究の方法と内容〉 1 捉えの共有 ・主体的・対話的で深い学びの具体的な姿、捉えの共有化を図るワークショップの実施 2 授業作り ・学習指導案検討会 ・VTR視聴による研究授業及び事後検討会 3 授業実践 ・研究授業及び研究授業事後検討会 ・主体的で対話的で深い学びの視点を踏まえた‘一人一事例’の指導略案の作成と授業実践 4 文献研究、先行研究
研究の概要 ・研究経過 ・研究成果等	〈研究の概要〉 1 研究経過 (1) 「主体的・対話的で深い学び」についての研修会(6/5) ・二年次の校内研究を行うにあたり、主体的・対話的で深い学びについて、的確な実態把握(アセスメント)と育成を目指す資質・能力を3観点で見取る学習評価に関する資料を活用しながら共通理解を図った。 (2) 研究授業に向けた指導案検討会(7/16、8/20) ・学部ごとに、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの姿と目標達成に向けた手立ての工夫について明記した指導案について、研究授業に向けた指導案検討会を実施した。昨年度、同様、付箋紙を用い、ワークショップ形式で行った。 (3) 研究授業と事後検討会(9/19) ・主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた授業実践を学部ごとに行い、ワークショップ形式で事後検討会を実施。授業後、指導主事から指導・助言いただき、成果と課題について共有した。 (4) 一人一事例の指導略案作成と実践とVTR視聴による研究授業及び事後検討会(12月) ・主体的・対話的で深い学びの姿とその視点に基づく個々の目標達成のために必要な手立ての工夫を明記した指導略案を学級担任全員が作成し、授業を行った。学部ごと、一授業についてVTR視聴をし、事後検討会を実施した。 2. 成果と課題 (1) 成果 児童生徒の目標達成に向けた主体的・対話的で深い学びの具体的な姿や支援の在り方について、理論研究と授業実践を連動させ、主体的・対話的で深い学びの授業作りを協働で行い、校内研究への取組のベースを作ることができた。具体的内容については、以下の通りである。 ・前年度の課題であった学習指導案の見直しと精査。 ・各学部における主体的な研究活動の活性化。校内研究について共通理解するための全体会やアナウンス、学部研究を有機的に連動させる取組。 ・研究日の活用ー12回の研究の日の計画的な運用。文献、資料などの読み合わせ、ワークショップを通して支援の在り方の検討、授業検討会の実施PDCAサイクルに基づいた「授業づくり」の推進。 (課題) 二年計画の研究において、児童生徒の‘主体的・対話的で深い学びの具体的な姿’に焦点を当てたが、実態把握と目標設定の妥当性に課題が残った。